



アクサ生命保険株式会社

redefining / standards

# 特別勘定マンスリーレポート

## 特別勘定の現況

ユニット・リンク(有期型)

ユニット・リンク保険(有期型)

リバティ(終身型)/リバティ(有期型)

変額保険(終身型)/変額保険(有期型)

# 2014年7月

当資料は、変額保険(終身型および有期型)、ユニット・リンク保険(有期型)における各特別勘定のユニット・プライスの推移を示したものです。なお、当資料中の運用実績に関するグラフ及び数値は、あくまで過去の実績であり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(注) 変額保険(終身型)、変額保険(有期型)、ユニット・リンク保険(有期型)は現在販売していません。

この資料の内容は当社のホームページでもご覧になれます。  
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

## 『ご留意いただきたい事項』

### ■当資料の目的

当資料は、アクサ生命が「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です。特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

### ■生命保険です

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有しているわけではありません。

### ■運用実績に応じて変動します

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は、保険金額や積立金額等が特別勘定資産の運用実績に基づいて変動(増減)する生命保険で、保険期間中保険金額が一定の生命保険である定額保険とは異なります。

### ■元本割れリスク、最低保証について

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は、特別勘定の運用実績に応じて、積立金、死亡・高度障害保険金、解約払戻金が増減する保険です。積立金、解約払戻金、満期保険金には最低保証はありませんので、払い込まれた保険料総額を下回ることもあります。ただし、死亡・高度障害保険金は基本保険金額と同額が保証されます。

### ■特別勘定資産と投資信託の運用実績について

特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり、投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用を控除していることなどによるものです。

### ■自己責任原則

特別勘定による資産運用は、経済情勢や運用のいかんによっては高い収益を期待できますが、一方で、株価の下落や金利や為替の変動による運用リスクをご契約者様ご自身が負うこととなります。

### ■ユニットプライスとは

ユニットプライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

### ■ご検討・ご契約に際して

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」の詳細については、当該商品のパンフレット、ご契約のしおり・約款、特別勘定のしおり等をご覧ください。なお、ご契約の保障内容については、すべて保険証券に記載されているとおりになりますのでお確かめください。

### ■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

### ■特別勘定は、追加されることがあります

特別勘定は、追加されることがあります。また、特別勘定の運用方針および運用対象は将来変更されることがあります。

### ■ご契約にかかわる諸費用

この保険にかかる費用には、ご契約の締結・維持、死亡保障等にかかる費用および特別勘定の運用にかかる費用があります。お払込保険料からこれらの費用を差し引き、残りを運用対象額として特別勘定に繰り入れます。したがって、お払込保険料の全額が特別勘定で運用されるものではありません。

これらの費用は、性別・契約年齢・保険料払込期間・保険料払込方法等によって異なり、金額や割合を表示することができませんのでご了承ください。

これらの費用は、ご契約後、特別勘定資産からも定期的に控除されます。

(注)「変額保険(終身型)」、「変額保険(有期型)」および「ユニット・リンク保険(有期型)」は現在販売しておりません。

## 1.特別勘定の運用概況

### ・特別勘定の運用方針

(特別勘定名)	(運用方針)
日本株式型	主に日本企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 東証株価指数(TOPIX <sup>※1</sup> )を上回る投資成果を目指します。
日本株式 積極運用型	主に日本の成長企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
米国株式型	主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 S&P500指数 <sup>※2</sup> を上回る投資成果を目指します。
欧州株式型	主に欧州企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 MSCIヨーロッパ指数 <sup>※3</sup> を上回る投資成果を目指します。
世界株式型 (為替ヘッジなし)	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 MSCI KOKUSAIインデックス <sup>※4</sup> を上回る投資成果を目指します。
世界株式型 (為替ヘッジあり)	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジを行います。 MSCI KOKUSAIインデックス(円ヘッジ)を上回る投資成果を目指します。
世界債券型	主に内外の公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内公社債50%、海外公社債50%とします。 海外公社債の投資部分に対し、原則として、為替ヘッジは行いません。 NOMURA-BPI(総合) <sup>※5</sup> 50%、シティ世界国債インデックス(除く日本) <sup>※6</sup> 50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。
金融市場型	主に国内の公社債および短期金融商品に分散投資することによって、中長期的に安定した投資成果を目指します。 NOMURA-BPI(総合短期) <sup>※7</sup> を上回る投資成果を目指します。
グローバル・バランス型	主に世界各国の株式および公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。 基本的に為替ヘッジは行いません。ただし、市況動向等を勘案して、為替ヘッジを行うことがあります。 MSCI WORLDインデックス <sup>※8</sup> 50%、シティ世界国債インデックス <sup>※9</sup> 50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。

※1) 東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部の時価総額の動きをあらわす指数で、東京証券取引所が算出、公表を行っています。

※2) S&P500指数とは、スタンダード・アンド・プアーズ社が提供する米国株式市場の主要な500銘柄を対象に時価総額加重方式で計算した株価指数です。

※3) MSCIヨーロッパ指数とは、MSCIインクが提供する欧州株式を包括的に表した指数です。

※4) MSCI KOKUSAIインデックスとは、MSCIインクが提供する指数で、日本を除く主要各国の株式を包括的に表した指数です。

※5) NOMURA-BPI総合(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合)は野村證券株式会社が公表する、わが国の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。

※6) シティ世界国債インデックス(除く日本)とはシティグループ・インデックスLLCが算出・公表している指数で、日本を除いた世界主要国の国債の総合利回りを各市場の時価総額で加重平均した指数です。

※7) NOMURA-BPI総合短期は、残存期間1年～3年の短期の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。

※8) MSCI WORLDインデックスとは、MSCIインクが提供する指数で、日本を含む主要各国の株式を包括的に表した指数です。

※9) シティ世界国債インデックスとはシティグループ・インデックスLLCが算出・公表している指数で、日本を含む世界主要国の国債の総合利回りを各市場の時価総額で加重平均した指数です。

### ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■ 将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

## 2.運用環境 [2014年7月]

### 【日本株式型】【日本株式積極運用型】

国内株式市場は、TOPIX(配当込み)で+2.13%上昇しました。

月前半は、6月の米国雇用統計が大幅に改善する一方、ポルトガルでの信用不安への懸念などから揉み合いながら推移しました。月後半は、ウクライナや中東における地政学リスクが高まったことなどにより下落する場面もありましたが、四半期企業決算への期待や円安基調などを好感して上昇基調で推移しました。

### 【米国株式型】【欧州株式型】【世界株式型(為替ヘッジなし)】【世界株式型(為替ヘッジあり)】

世界株式市場はMSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で△1.02%下落しました。

米国株式市場は、MSCI US(現地通貨ベース)で△1.41%下落しました。月前半、6月の雇用統計の大幅な改善や、好業績銘柄が牽引し一時史上最高値を更新する一方、ポルトガルでの信用不安への懸念などから、中旬にかけて揉み合いながら推移しました。月後半は、ウクライナや中東における地政学リスクの高まりや、アルゼンチンが一部債務を履行できない状態に陥ったことなどにより下落しました。

欧州株式市場は、MSCI Europe(現地通貨ベース)で△1.79%下落しました。月前半、ECB(欧州中央銀行)総裁が緩和的な金融政策姿勢を示したことなどにより上昇して始まりましたが、ポルトガルでの信用不安などにより急落し、その後信用不安が一服すると上昇に転じました。月後半は、ウクライナや中東における地政学リスクの高まりなどにより下落した後上昇に転じましたが、アルゼンチンが一部債務を履行できない状態に陥ったことなどにより下落しました。

### 【金融市場型】

国内債券市場はNOMURA-BPI(総合)で+0.17%上昇しました。

月前半、小動きが続いた後、株式市場の下落や米国の利上げ警戒感の後退などから、金利は低下(価格は上昇)しました。月後半も、欧米長期金利の低下や、日銀買いオペの結果から国債需給の逼迫が意識されたことなどから低下基調で推移しました。

### 【世界債券型】

世界債券市場はCitigroup WGBI(現地通貨ベース)で+0.41%上昇しました。

米国債券市場は、月前半、雇用統計の大幅な改善などを受けて金利は上昇(価格は下落)した後、米国株式の下落や利上げ警戒感の後退などから低下(価格は上昇)しました。月後半は、ウクライナや中東における地政学リスクの高まりなどから低下した後、雇用関連指標が改善する一方で、米国株式の下落などにより小動きが続きましたが、月末には4-6月期のGDP(国内総生産)成長率が予想を上回ったことなどにより上昇しました。

欧州債券市場は、月前半、小動きが続いた後、ポルトガルでの信用不安などから低下(価格は上昇)しました。月後半も、ウクライナや中東における地政学リスクの高まりなどや、域内で総じてインフレ率の鈍化が続いたことなどにより追加金融緩和観測が強まり、低下基調で推移しました。

### 【グローバルバランス型】

世界株式市場はMSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で△1.02%下落しました。世界債券市場はCitigroup WGBI(現地通貨ベース)で+0.41%上昇しました。

米国株式市場は、MSCI US(現地通貨ベース)で△1.41%下落しました。月前半、6月の雇用統計の大幅な改善や、好業績銘柄が牽引し一時史上最高値を更新する一方、ポルトガルでの信用不安への懸念などから、中旬にかけて揉み合いながら推移しました。月後半は、ウクライナや中東における地政学リスクの高まりや、アルゼンチンが一部債務を履行できない状態に陥ったことなどにより下落しました。

欧州株式市場は、MSCI Europe(現地通貨ベース)で△1.79%下落しました。月前半、ECB総裁が緩和的な金融政策姿勢を示したことなどにより上昇して始まりましたが、ポルトガルでの信用不安などにより急落し、その後信用不安が一服すると上昇に転じました。月後半は、ウクライナや中東における地政学リスクの高まりなどにより下落した後上昇に転じましたが、アルゼンチンが一部債務を履行できない状態に陥ったことなどにより下落しました。

米国債券市場は、月前半、雇用統計の大幅な改善などを受けて金利は上昇(価格は下落)した後、米国株式の下落や利上げ警戒感の後退などから低下(価格は上昇)しました。月後半は、ウクライナや中東における地政学リスクの高まりなどから低下した後、雇用関連指標が改善する一方で、米国株式の下落などにより小動きが続きましたが、月末には4-6月期のGDP成長率が予想を上回ったことなどにより上昇しました。

欧州債券市場は、月前半、小動きが続いた後、ポルトガルでの信用不安などから低下(価格は上昇)しました。月後半も、ウクライナや中東における地政学リスクの高まりなどや、域内で総じてインフレ率の鈍化が続いたことなどにより追加金融緩和観測が強まり、低下基調で推移しました。

## ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■ 将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

### 3. 特別勘定の運用状況 [2014年7月]

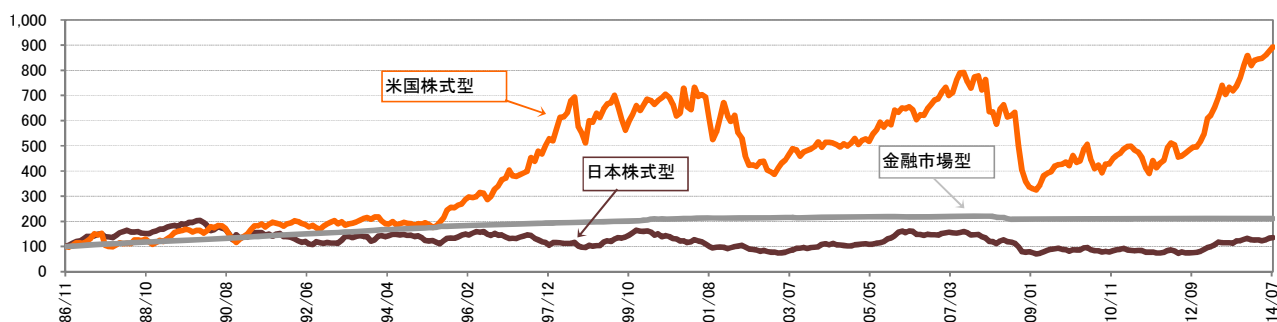
#### ・特別勘定のユニット・プライス騰落率一覧

特別勘定名	運用開始日	ユニット・プライス	騰落率						
			過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
日本株式型	1986年12月1日	135.34356194	1.77%	10.40%	7.24%	17.58%	62.09%	48.71%	35.34%
日本株式積極運用型	2001年5月1日	79.52631403	2.77%	11.65%	6.29%	15.53%	54.40%	46.87%	▲20.47%
米国株式型	1986年12月1日	892.17329227	1.94%	5.30%	8.97%	21.83%	96.88%	112.86%	792.17%
欧州株式型	1999年4月1日	160.04058915	▲1.50%	▲2.23%	3.61%	20.00%	69.27%	76.08%	60.04%
世界株式型(為替ヘッジなし)	2001年5月1日	161.54950180	1.19%	3.67%	8.10%	21.89%	88.02%	110.67%	61.55%
世界株式型(為替ヘッジあり)	2001年5月1日	134.48238515	0.25%	3.83%	7.52%	14.79%	46.38%	88.40%	34.48%
世界債券型	1999年4月1日	150.18238222	0.54%	0.89%	2.00%	6.35%	23.53%	23.34%	50.18%
金融市場型	1986年12月1日	210.52928071	▲0.00%	▲0.00%	▲0.01%	▲0.01%	0.09%	0.61%	110.53%
グローバル・バランス型	2001年5月1日	167.13192554	1.10%	3.10%	4.51%	15.42%	59.87%	63.64%	67.13%

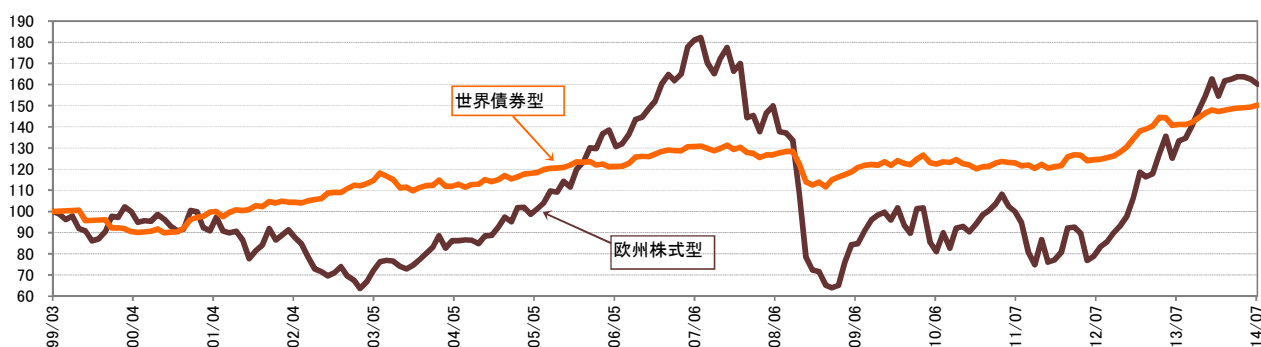
(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として指数化したものです。

#### ・特別勘定のユニット・プライス推移

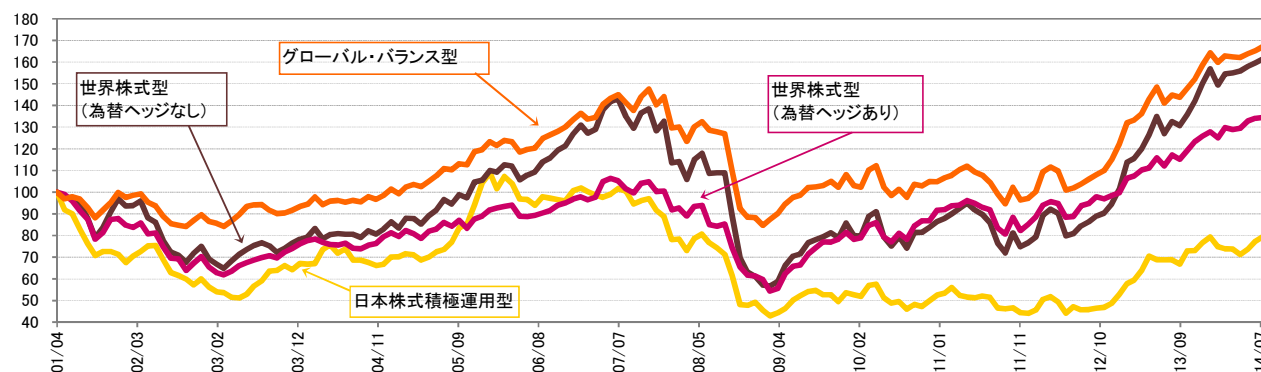
・1986年12月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移(日本株式型/米国株式型/金融市場型)



・1999年4月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移(欧州株式型/世界債券型)



・2001年5月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移  
(日本株式積極運用型/世界株式型(為替ヘッジなし)/世界株式型(為替ヘッジあり)/グローバル・バランス型)



#### ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

・特別勘定資産の内訳

■日本株式型

項目		金額(千円)	比率(%)	
	現預金・その他	1,031,449	4.2%	
投資信託	ラッセル日本株式ファンドI-3	13,737,824	55.4%	p7上段
	日本株バリュールマネージャーファンド	4,948,798	19.9%	p7下段
	アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド	5,095,041	20.5%	p8上段
	合計	24,813,112	100.0%	

■日本株式積極運用型

項目		金額(千円)	比率(%)	
	現預金・その他	85,691	4.4%	
投資信託	フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3	967,376	50.0%	p8下段
	ビクテ・ニッポン・プレミア・グロス・ファンド	882,586	45.6%	p9上段
	合計	1,935,653	100.0%	

■米国株式型

項目		金額(千円)	比率(%)	
	現預金・その他	707,117	4.3%	
投資信託	RIC Russell US Equity Fund	9,862,771	59.4%	p9下段
	米国株式インデックスファンドVA	6,038,563	36.4%	p10上段
	合計	16,608,451	100.0%	

■欧州株式型

項目		金額(千円)	比率(%)	
	現預金・その他	165,610	4.0%	
投資信託	RIC II Russell Pan European Equity Fund	3,210,752	76.6%	p10下段
	フィデリティ・欧州株・ファンド	816,003	19.5%	p11上段
	合計	4,192,365	100.0%	

■世界株式型(為替ヘッジなし)

項目		金額(千円)	比率(%)	
	現預金・その他	108,130	4.4%	
投資信託	ラッセル外国株式ファンドI-4B	1,855,824	75.4%	p11下段
	インデックスファンド海外株式(ヘッジなし) <sup>(※1)</sup>	496,504	20.2%	p12上段
	合計	2,460,458	100.0%	

■世界株式型(為替ヘッジあり)

項目		金額(千円)	比率(%)	
	現預金・その他	32,113	4.4%	
投資信託	ラッセル外国株式ファンドI-4A	544,304	75.1%	p12下段
	インデックスファンド海外株式(ヘッジあり) <sup>(※2)</sup>	147,952	20.4%	p13上段
	合計	724,369	100.0%	

■世界債券型

項目		金額(千円)	比率(%)	
	現預金・その他	375,037	4.0%	
投資信託	RIC Russell Global Bond Fund	3,207,284	34.5%	p14下段
	グローバル・ボンド・ファンドVA	1,879,451	20.2%	p15上段
	ラッセル日本債券ファンドI-1	3,828,537	41.2%	p15下段
	合計	9,290,309	100.0%	

■金融市場型

項目		金額(千円)	比率(%)	
	現預金・その他	421,445	5.3%	
投資信託	フィデリティ・マネー・ブルVA	7,509,855	94.7%	p16上段
	合計	7,931,300	100.0%	

■グローバル・バランス型

項目		金額(千円)	比率(%)	
	現預金・その他	987,038	3.9%	
投資信託	RIC II Russell World Equity Fund	4,817,616	19.3%	p13下段
	グローバル成長株ファンド	7,226,265	28.9%	p14上段
	RIC Russell Global Bond Fund	5,882,777	23.5%	p14下段
	グローバル・ボンド・ファンドVA	6,107,512	24.4%	p15上段
	合計	25,021,208	100.0%	

(注)「p7上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

※1 2014年7月19日付でファンド名称が、「年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジなし)」から「インデックスファンド海外株式(ヘッジなし)」へ変更となりました。

※2 2014年7月19日付でファンド名称が、「年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジあり)」から「インデックスファンド海外株式(ヘッジあり)」へ変更となりました。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

・組入れ投資信託の売買状況

■日本株式型

今月は、当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

■日本株式積極運用型

今月は、当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

■米国株式型

今月は、資金移動に合わせて、「米国株式インデックスファンドVA」の一部売却を行いました。

■欧州株式型

今月は、当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

■世界株式型(為替ヘッジなし)

今月は、当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

■世界株式型(為替ヘッジあり)

今月は、資金移動に合わせて、「ラッセル外国株式ファンドI-4A」の一部売却を行いました。

■世界債券型

今月は、当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

■金融市場型

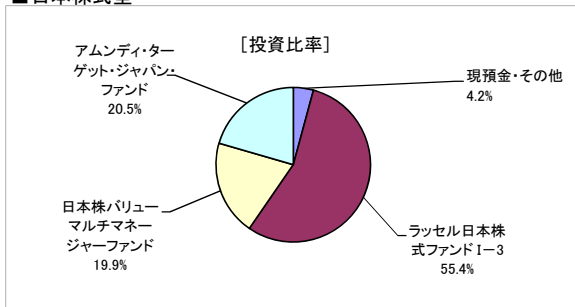
今月は、当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

■グローバル・バランス型

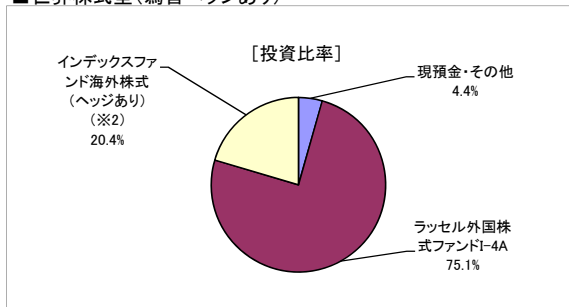
今月は、資金移動に合わせて、「RIC II Russell World Equity Fund」「RIC Russell Global Bond Fund」の一部売却、および「グローバル・ボンド・ファンドVA」の購入を行いました。

・特別勘定資産の内訳(グラフ)

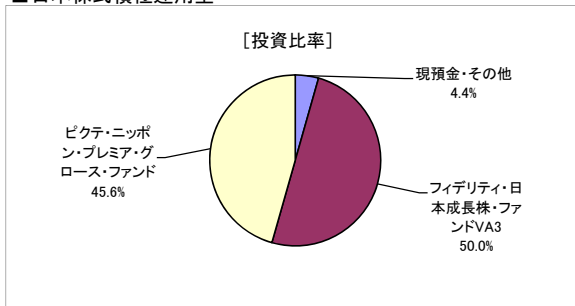
■日本株式型



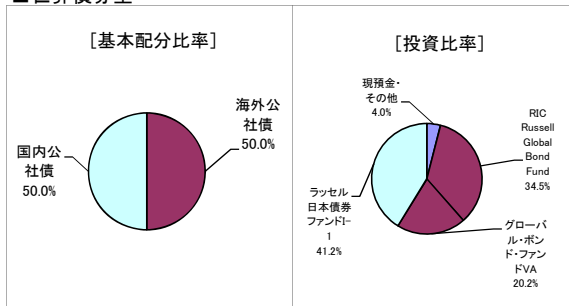
■世界株式型(為替ヘッジあり)



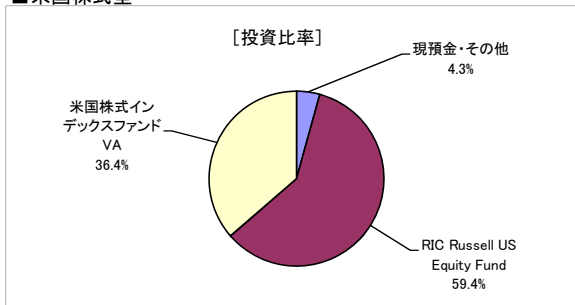
■日本株式積極運用型



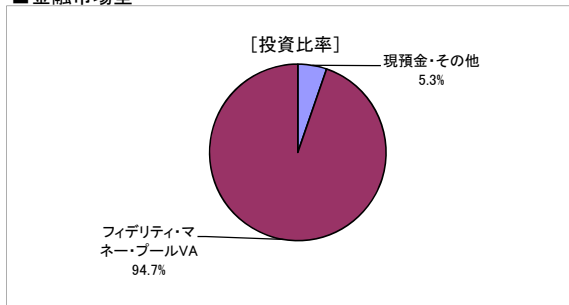
■世界債券型



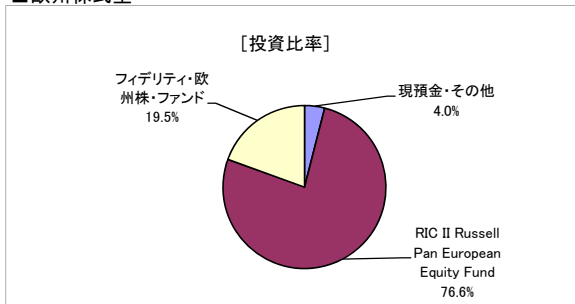
■米国株式型



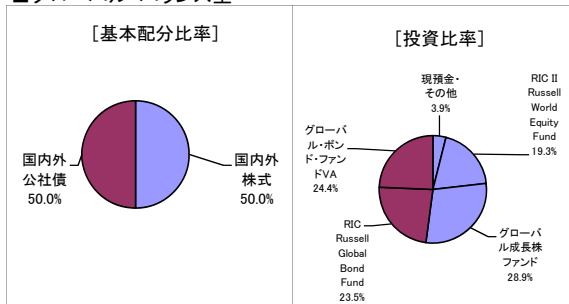
■金融市場型



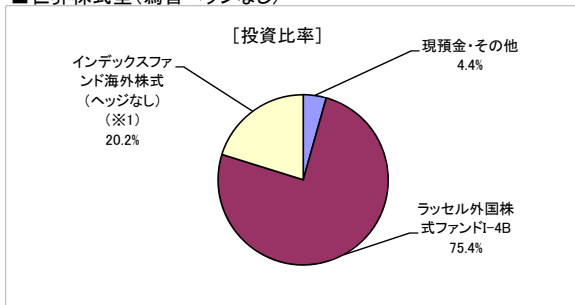
■欧州株式型



■グローバル・バランス型



■世界株式型(為替ヘッジなし)



ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』  
 ■将来の投資成果を保証するものではありません。  
 当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

## 4.各特別勘定で投資している投資信託の運用状況

(投資信託名)ラッセル日本株式ファンド I-3

(運用会社)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

◆国内の証券取引所に上場されている株式を実質的な主要投資対象とし、トランキングエラーを抑えながら、ベンチマーク(TOPIX・配当込)を上回る投資成果を目指します。  
 ◆「ラッセル日本株式マザーファンド」および指定投資信託証券(インデックス・ファンド)を主要投資対象とします。  
 ◆複数の運用スタイルと運用会社を採用することにより、ファンド全体でリスクをコントロールしながら、超過収益の獲得を目指します。  
 ◆「ラッセル日本株式マザーファンド」では、グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの運用スタイルだけでなく、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。

ファンドの騰落状況 (2014年7月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	2.09%	2.13%
過去3ヶ月	10.97%	11.12%
過去6ヶ月	5.97%	6.84%
過去1年	15.47%	16.20%
過去3年	60.57%	63.70%
設定来	71.12%	69.96%



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2014年7月末現在)

■組入上位10業種

業種	比率
電気機器	13.6%
銀行業	10.0%
輸送用機器	8.4%
卸売業	8.1%
情報・通信業	7.2%
化学	6.3%
機械	6.1%
サービス業	4.6%
建設業	3.5%
鉄鋼	3.1%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率①
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.0%
トヨタ自動車	輸送用機器	2.6%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.5%
キーエンス	電気機器	1.8%
オリックス	その他金融業	1.7%
三井物産	卸売業	1.5%
丸紅	卸売業	1.3%
みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.3%
富士重工業	輸送用機器	1.2%
リコー	電気機器	1.2%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
RIS(ティール・バリュー-ISP*)	バリュー型	10%
JPモルガン	バリュー型	16%
ニューメリック	マーケット・オリエンテッド型	25%
インベスコ	マーケット・オリエンテッド型	22%
カムイ[投資助言]**	グロース型	5%
新光投信	グロース型	22%

①比率は国内株式評価額合計に占める割合

②数%程度のキャッシュ・エクイタイズーション(流動資金の株式化)部分等を除きます。

\* ISP: Investment Strategy Portfolio

\*\*カムイの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・サービスの「RIS」が運用の指図を行います。

(出所)  
ラッセル・インベストメント株式会社

(投資信託名)日本株バリューマルチマネージャーファンド

(運用会社)新光投信株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

◆日本の株式の中から割安とされる銘柄に投資します。  
 ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「バリュー1号マザーファンド」および「バリュー2号マザーファンド」を主要投資対象とします。各マザーファンドの投資配分の決定にあたっては、HCアセットマネジメントの助言を受けます。  
 ◆株式の運用指図に関する権限については、バリュー1号マザーファンドはラザード・ジャパン・アセット・マネージメント株式会社にて、バリュー2号マザーファンドはAdvisory Research, Inc.にそれぞれ委託しています。

ファンドの騰落状況 (2014年7月末現在)	
	ファンド
過去1ヶ月	1.26%
過去3ヶ月	10.36%
過去6ヶ月	7.69%
過去1年	18.90%
過去3年	62.35%
設定来	40.21%



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況 (2014年7月末現在)

■マザーファンド組入比率

マザーファンド	比率
バリュー1号マザーファンド	47.67%
バリュー2号マザーファンド	51.96%

バリュー1号マザーファンド

■組入上位5業種

業種	比率
電気機器	17.3%
銀行業	14.0%
化学	8.8%
機械	7.7%
証券・商品先物取引業	6.8%

■株式組入上位5銘柄

銘柄	比率
三菱UFJフィナンシャルG	4.3%
日立製作所	4.1%
みずほフィナンシャルG	3.7%
日本電産	3.7%
ジャフコ	3.5%

バリュー2号マザーファンド

業種	比率
電気機器	14.2%
化学	13.5%
銀行業	8.9%
卸売業	8.8%
輸送用機器	7.8%

銘柄	比率
中国塗料	4.1%
アークス	3.3%
山九	3.2%
MS&ADインフラストラクチャーホールディングス	3.0%
あおぞら銀行	3.0%

(出所)  
新光投信株式会社

※組入上位5業種の比率は、各マザーファンドの株式組入全体を100%とした比率です。  
 株式組入上位5銘柄の比率は、各マザーファンドの対純資産比率です。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。



当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

◆企業の資産価値や収益力等から算出される投資価値と比較した株価の割安度(バリュエーション)に着目した銘柄選択を行い、更に株主価値の増大を図る余力があると思われる銘柄を厳選し投資します。  
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「アムンディ・ターゲット・ジャパン・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

ファンドの騰落状況 (2014年7月末現在)	
ファンド	騰落率
過去1ヶ月	1.84%
過去3ヶ月	11.37%
過去6ヶ月	12.29%
過去1年	27.82%
過去3年	80.00%
設定来	147.96%

基準価額の推移 [設定日:2003年11月18日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2014年7月末現在)

■市場別構成比率

市場	比率
東京一部	86.8%
東京二部	4.5%
JASDAQ	1.4%
その他市場	3.5%
現金・その他	3.8%
合計	100.0%

■組入上位10業種

業種	比率
電気機器	13.7%
機械	12.3%
建設業	11.7%
化学	9.1%
金属製品	8.0%
鉄鋼	6.3%
繊維製品	5.3%
銀行業	5.2%
その他製品	4.4%
情報・通信業	3.3%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
共英製鋼	鉄鋼	2.7%
東京応化工業	化学	2.5%
TSIホールディングス	繊維製品	2.4%
天馬	化学	2.4%
高周波熱錬	金属製品	2.4%
東プレ	金属製品	2.3%
トッパン・フォームズ	その他製品	2.3%
WS&Aインフラストラクチャーホールディングス	保険業	2.2%
ワコールホールディングス	繊維製品	2.2%
キッセイ薬品工業	医薬品	2.1%

(出所)  
アムンディ・ジャパン株式会社

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率をいいます。

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率をいいます。

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式積極運用型特別勘定

ファンドの特色等

◆わが国の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます)されている株式を主要な投資対象とします。  
◆TOPIX(配当込)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。  
◆個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。  
◆個別企業分析にあたっては、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。  
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・日本成長株・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

ファンドの騰落状況 (2014年7月末現在)		
ファンド	ベンチマーク	騰落率
過去1ヶ月	3.31%	2.13%
過去3ヶ月	12.05%	11.12%
過去6ヶ月	5.72%	6.84%
過去1年	15.66%	16.20%
過去3年	58.16%	63.70%
設定来	56.59%	50.01%

基準価額の推移 [設定日:2001年11月29日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■市場構成比率

市場構成比率 (2014年6月末現在)	
市場	比率
東証1部	98.3%
東証2部	0.1%
ジャスダック	0.4%
その他市場	0.3%

■組入上位5業種

組入上位5業種 (2014年6月末現在)	
業種	比率
電気機器	19.6%
輸送用機器	10.1%
機械	9.6%
情報・通信業	6.6%
銀行業	6.3%

■株式組入上位10銘柄

株式組入上位10銘柄 (2014年6月末現在)		
銘柄	業種	比率
日立製作所	電気機器	3.2%
オリックス	その他金融業	2.9%
三菱電機	電気機器	2.8%
ソフトバンク	情報・通信業	2.7%
マキタ	機械	2.6%
ミスグループ本社	卸売業	2.5%
日本電産	電気機器	2.4%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.4%
シマノ	輸送用機器	2.3%
トヨタ自動車	輸送用機器	2.2%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)  
フィデリティ投信株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式積極運用型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の証券取引所(これに準ずるものを含む)に上場されている株式に投資を行います。
- ◆組入銘柄の選択に当たっては、企業のファンダメンタルズ分析を重視し、成長性と株価を相対評価して行います。また、変革を実行できる企業と経営者、利益成長の源泉が明確な企業に焦点を当て、企業訪問を重ね丹念に調査し、徹底した銘柄選択で運用します。
- ◆特定の株価指数(東証株価指数、日経平均株価など)にとらわれず運用します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

ファンドの騰落状況 (2014年7月末現在)	
期間	ファンド
過去1ヶ月	2.48%
過去3ヶ月	12.38%
過去6ヶ月	7.42%
過去1年	16.30%
過去3年	59.34%
設定来	44.35%

基準価額の推移 [設定日:2002年5月30日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2014年7月末現在)

■市場別上位組入比率

市場	比率
東証1部	97.4%
ジャスダック	0.8%
東証REIT	0.6%
—	—
—	—

■組入上位5業種

業種	比率
電気機器	15.2%
機械	12.0%
輸送用機器	10.2%
銀行業	10.0%
化学	8.7%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
トヨタ自動車	輸送用機器	5.9%
三菱UFJフィナンシャルグループ	銀行業	4.1%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.3%
日本電信電話	情報・通信業	2.7%
三井物産	卸売業	1.7%
三菱電機	電気機器	1.7%
ダイキン工業	機械	1.6%
セブン&アイホールディングス	小売業	1.6%
村田製作所	電気機器	1.6%
東京海上ホールディングス	保険業	1.6%

※組入比率は実質比率(マザーファンドの組入比率×マザーファンドにおける当該資産の組入比率)です。

(出所)  
ピクテ投信投資顧問株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

米国株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆米国の大型株を主要投資対象とし、ベンチマーク(Russell 1000 Index)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用スタイルと運用会社を採用し、分散化を図ることで、ベンチマークと同程度のリスクになるようコントロールします。
- ◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

ファンドの騰落状況

ファンドの騰落状況 (2014年7月末現在)		
期間	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	▲1.40%	▲1.65%
過去3ヶ月	3.08%	2.78%
過去6ヶ月	7.86%	8.70%
過去1年	15.09%	16.39%
過去3年	50.96%	56.61%
設定来	101.74%	155.98%

基準価額の推移 [設定日:1998年1月2日]



※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

ポートフォリオの状況 (2014年7月末現在)

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
Pfizer, Inc.	ヘルスケア	2.4%
General Electric Co.	生産者向け耐久財	2.4%
Citigroup, Inc.	金融サービス	2.3%
Apple, Inc.	テクノロジー	2.2%
Exxon Mobil Corp.	エネルギー	2.0%
Oracle Corp.	テクノロジー	1.9%
COMCAST CORP NEW	一般消費財	1.8%
TIME WARNER INC	一般消費財	1.5%
Johnson Controls, Inc.	一般消費財	1.4%
Cisco Systems, Inc.	テクノロジー	1.2%

■外部委託会社

運用会社	運用スタイル	目標配分
Ceredex	ハリュー型	17.0%
Columbus Circle	グロース型	16.0%
Cornerstone	グロース型	10.0%
HS Management	グロース型	6.0%
Institutional Capital Corporation	ハリュー型	20.0%
Levin	マーケット・オリエンテッド型	10.0%
Pzena	ハリュー型	6.0%
Russell	マーケット・オリエンテッド型	4.0%
Suffolk Capital Management	マーケット・オリエンテッド型	11.0%

(出所)  
Russell Investments Limited.

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

米国株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆ S & P500種株価指数(円ベース)に連動した投資成果を目指します。
- ◆ ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「米国株式インデックスマザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2014年7月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	2.04%	1.94%
過去3ヶ月	5.51%	5.13%
過去6ヶ月	10.58%	9.79%
過去1年	24.30%	22.53%
過去3年	109.51%	100.11%
設定来	111.18%	75.96%

基準価額の推移

[設定日: 2003年11月21日]

(2014年7月末現在)



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況

(2014年7月末現在)

■ 株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
APPLE INC	テクノロジー・ハードウェア	3.35%
EXXON MOBIL CORP	エネルギー	2.50%
MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	1.85%
JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー	1.62%
GENERAL ELECTRIC CO.	資本財	1.44%
CHEVRON CORP	エネルギー	1.41%
WELLS FARGO & CO	銀行	1.40%
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	各種金融	1.29%
JPMORGAN CHASE & CO	銀行	1.25%
VERIZON COMMUNICATIONS INC	電気通信サービス	1.20%

(出所)  
日興アセットマネジメント株式会社

※比率は対純資産総額比率をいいます。

当ファンドに投資している特別勘定

欧州株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆ 欧州株式を主要投資対象とし、ベンチマーク(MSCI Europe Index)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆ 複数の運用スタイルと運用会社を採用するとともに、国別配分やセクター配分、規模別配分はベンチマークから大きく乖離しないようにコントロールし、主に銘柄選択により超過収益の獲得を目指します。
- ◆ 当ファンドは、アイルランド国籍のユーロ建投資信託です。

ファンドの騰落状況

(2014年7月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	▲2.25%	▲1.60%
過去3ヶ月	▲0.66%	0.49%
過去6ヶ月	4.40%	6.41%
過去1年	15.09%	15.43%
過去3年	44.73%	38.00%
設定来	22.73%	34.39%

基準価額の推移 [設定日: 2000年11月14日]

(2014年7月末現在)



※騰落状況はユーロベースで計算しており、基準価額の推移もユーロベースで表記しています。

ポートフォリオの状況

(2014年7月末現在)

■ 株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	業種	比率
Roche Holding AG	スイス	ヘルスケア	2.7%
Royal Dutch Shell	イギリス	エネルギー	2.0%
Novartis AG	スイス	ヘルスケア	1.9%
GlaxoSmithKline	イギリス	ヘルスケア	1.7%
Bayer AG	ドイツ	ヘルスケア	1.6%
UBS AG	スイス	金融	1.4%
Sanofi-Aventis	フランス	ヘルスケア	1.4%
ING Groep NV	オランダ	金融	1.4%
HSBC Holdings	イギリス	金融	1.4%
BP PLC	イギリス	エネルギー	1.4%

■ 外部委託会社

運用会社	運用スタイル	目標配分
Fidelity	グロース型	15.0%
Hermes Sourcecap	グロース型	20.0%
Numeric	ハリュ型	22.5%
Pzena	ハリュ型	12.5%
Russell	マーケットオリエンテド型	10.0%
SW Mitchell	グロース型	10.0%
THS	グロース型	10.0%

(出所)  
Russell Investments Limited.

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■ 将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

欧州株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆英国および欧州大陸の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を主要な投資対象とします。
- ◆個別企業分析により、優良企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。
- ◆個別企業分析にあたっては、フィデリティ・グループの欧州および世界主要金融拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、現地のポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。
- ◆MSCIヨーロッパ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)をベンチマークとします。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・欧州株・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2014年7月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	▲2.13%	▲2.32%
過去3ヶ月	▲2.92%	▲2.15%
過去6ヶ月	3.42%	6.92%
過去1年	19.04%	21.76%
過去3年	62.46%	73.38%
設定来	83.94%	75.93%

基準価額の推移 [設定日:1998年4月1日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■組入上位5カ国

(2014年6月末現在)	
国名	比率
イギリス	22.1%
フランス	19.0%
ドイツ	16.3%
オランダ	6.0%
オーストリア	4.7%

■組入上位5業種

(2014年6月末現在)	
業種	比率
各種金融	15.4%
銀行	12.4%
素材	10.3%
資本財	8.4%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.8%

■株式組入上位10銘柄

(2014年6月末現在)			
銘柄	国名	業種	比率
KINNEVIK INVESTMENT AB B	スウェーデン	各種金融	3.0%
ING GROEP NV CVA (NLG1)	オランダ	各種金融	2.9%
BNP PARIBAS	フランス	銀行	2.7%
SHIRE PLC	ジャージー	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.7%
VOLKSWAGEN AG PFD	ドイツ	自動車・自動車部品	2.5%
BRITISH AMERICAN TOBACCO ORD	イギリス	食品・飲料・タバコ	2.4%
ERSTE GROUP BANK AG	オーストリア	銀行	2.3%
CREDIT SUISSE GROUP AG	スイス	各種金融	2.1%
COMMERZBANK AG	ドイツ	銀行	2.1%
SANOFI	フランス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.1%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所) フィデリティ投信株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI・配当込み)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆グロース型、バリュ型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆原則として為替ヘッジを行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2014年7月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	1.23%	▲0.28%
過去3ヶ月	3.92%	2.31%
過去6ヶ月	8.23%	10.08%
過去1年	22.83%	22.55%
過去3年	92.14%	92.78%
設定来	131.31%	132.30%

基準価額の推移 [設定日:2003年11月18日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2014年7月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
北米地域	63.3%
ユーロ地域	12.8%
ユーロ除く欧州	19.1%
その他	4.7%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	比率①
VISA INC-CLASS A	USD	1.8%
Apple, Inc.	USD	1.8%
Nestle SA	CHF	1.7%
Groupe Danone	EUR	1.5%
State Street Corp.	USD	1.2%
Diageo PLC	GBP	1.2%
Schlumberger, Ltd.	USD	1.1%
Oracle Corp.	USD	1.0%
Intel Corp.	USD	1.0%
Wells Fargo & Co.	USD	1.0%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
マッキンリー	グロース型	15%
SGA	グロース型	15%
MFS	マーケット・オリエンテッド型	30%
ニューメリック	マーケット・オリエンテッド型	25%
ハリス	バリュ型	15%

①比率は株式評価額合計に占める割合

②数%程度のキャッシュ・エクイティ・エクイティ・エクイティ(流動資金の株式化)部分等を除く。

(出所) ラッセル・インベストメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定

ファンドの特色等

◆世界の主要国の株式市場の動きを捉えることを目標に、MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。  
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジなし)マザーファンド」を主要投資対象とします。

※2014年7月19日付でファンド名称が、「年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジなし)」から「インデックスファンド海外株式(ヘッジなし)」へ変更となりました。

ファンドの騰落状況

(2014年7月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	1.34%	1.29%
過去3ヶ月	3.59%	3.05%
過去6ヶ月	9.57%	8.56%
過去1年	23.65%	21.76%
過去3年	87.20%	77.74%
設定来	82.15%	58.55%

基準価額の推移 [設定日:2001年10月17日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2014年7月末現在)

■組入上位10カ国

国名	比率
アメリカ	58.59%
イギリス	8.83%
カナダ	4.64%
スイス	4.14%
フランス	4.03%
ドイツ	3.84%
オーストラリア	3.45%
スペイン	1.56%
オランダ	1.52%
スウェーデン	1.30%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	比率
APPLE INC	アメリカ	1.94%
EXXON MOBIL CORP	アメリカ	1.42%
MICROSOFT CORP	アメリカ	1.09%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	0.92%
WELLS FARGO & CO	アメリカ	0.83%
GENERAL ELECTRIC CO.	アメリカ	0.82%
CHEVRON CORP	アメリカ	0.80%
NESTLE SA-REG	スイス	0.77%
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	0.71%
VERIZON COMMUNICATIONS INC	アメリカ	0.68%

(出所)  
日興アセットマネジメント株式会社

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定

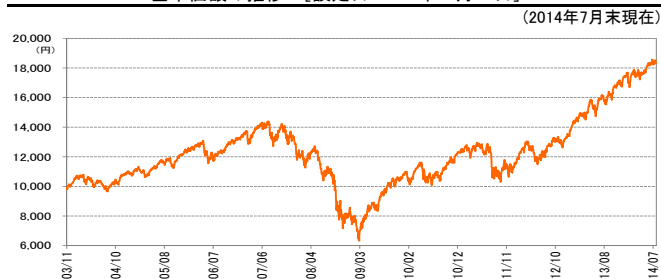
ファンドの特色等

◆日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI・配当込み、円ヘッジ・円ベース)を上回ることを目標として運用を行います。  
◆グローバル型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。  
◆原則として為替ヘッジを行います。  
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2014年7月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	0.23%	▲1.06%
過去3ヶ月	4.05%	2.20%
過去6ヶ月	7.50%	8.52%
過去1年	15.26%	15.85%
過去3年	48.71%	49.53%
設定来	85.50%	98.92%

基準価額の推移 [設定日:2003年11月18日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2014年7月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
北米地域	63.3%
ユーロ地域	12.8%
ユーロ除く欧州	19.1%
その他	4.7%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	比率①
VISA INC-CLASS A	USD	1.8%
Apple, Inc.	USD	1.8%
Nestle SA	CHF	1.7%
Groupe Danone	EUR	1.5%
State Street Corp.	USD	1.2%
Diageo PLC	GBP	1.2%
Schlumberger, Ltd.	USD	1.1%
Oracle Corp.	USD	1.0%
Intel Corp.	USD	1.0%
Wells Fargo & Co.	USD	1.0%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
マッキンリー	グローバル型	15%
SGA	グローバル型	15%
MFS	マーケット・オリエンテッド型	30%
ニューメリック	マーケット・オリエンテッド型	25%
ハリス	バリュー型	15%

①比率は株式評価額合計に占める割合  
②数%程度のキャッシュ・イキタイゼーション(流動資金の株式化)部分等を除く。

(出所)  
ラッセル・インベストメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定

ファンドの特色等

◆世界の主要国の株式市場の動きを捉えることを目標に、MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジあり・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。  
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジあり)マザーファンド」を主要投資対象とします。

※2014年7月19日付でファンド名称が、「年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジあり)」から「インデックスファンド海外株式(ヘッジあり)」へ変更となりました。

ファンドの騰落状況

(2014年7月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	0.39%	0.38%
過去3ヶ月	3.82%	3.28%
過去6ヶ月	9.36%	8.07%
過去1年	16.56%	14.80%
過去3年	43.89%	38.77%
設定来	51.16%	32.72%

基準価額の推移 [設定日:2001年10月17日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2014年7月末現在)

■組入上位10カ国

国名	比率
アメリカ	59.43%
イギリス	8.25%
スイス	4.29%
カナダ	4.18%
フランス	3.84%
ドイツ	3.62%
オーストラリア	3.31%
欧州	2.04%
スペイン	1.54%
スウェーデン	1.26%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	比率
APPLE INC	アメリカ	1.86%
EXXON MOBIL CORP	アメリカ	1.35%
MICROSOFT CORP	アメリカ	1.04%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	0.87%
WELLS FARGO & CO	アメリカ	0.79%
GENERAL ELECTRIC CO.	アメリカ	0.78%
CHEVRON CORP	アメリカ	0.77%
NESTLE SA-REG	スイス	0.73%
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	0.67%
VERIZON COMMUNICATIONS INC	アメリカ	0.65%

(出所)  
日興アセットマネジメント株式会社

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

当ファンドに投資している特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

◆世界各国の株式を主要投資対象とし、ベンチマーク(MSCI World Index)を上回ることを目標として運用を行います。  
◆複数の運用会社を採用することにより、超過収益の源泉の分散を図ります。  
◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

ファンドの騰落状況

(2014年7月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	▲1.95%	▲1.79%
過去3ヶ月	2.18%	1.91%
過去6ヶ月	6.41%	8.32%
過去1年	12.62%	16.15%
過去3年	31.65%	40.88%
設定来	114.40%	103.51%

基準価額の推移 [設定日:2004年6月24日]



※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

ポートフォリオの状況

(2014年7月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
US & Canada	60.2%
Europe ex United Kingdom	20.4%
United Kingdom	7.2%
Japan	6.8%
Emerging Markets	2.7%
Asia Pacific ex-Japan	2.6%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	業種	比率
Apple, Inc.	米国	情報テクノロジー	1.8%
VISA INC	米国	情報テクノロジー	1.6%
Groupe Danone	フランス	生活必需品	1.5%
Schlumberger, Ltd.	米国	エネルギー	1.4%
Nestle SA	スイス	生活必需品	1.4%
State Street Corp.	米国	金融	1.1%
Diageo PLC	イギリス	生活必需品	1.1%
Intel Corp.	米国	情報テクノロジー	1.0%
Compagnie Financiere Richemont SA	スイス	一般消費財	1.0%
Google Inc. Class C	米国	情報テクノロジー	1.0%

■外部委託会社

運用会社	運用スタイル	目標配分
Axiom	グロース型	15.0%
Harris	ハリュー型	15.0%
MFS	マーケット・オリエントド グロース・ハイラス型	25.0%
Numeric	マーケット・オリエントド ハリュー・ハイラス型	25.0%
Russell	マーケット・オリエントド型	5.0%
SGA	グロース型	15.0%

(出所)  
Russell Investments Limited.

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

◆マクロ分析によりグローバルな視点から成長力のある業種への重点投資を行ない、さらに国籍に関係なくその業種内で世界的なリーダーとなる企業(市場において主導的シェアを持つブランド展開力、競争上の優位性、将来を見据えた経営および優れた収益成長性等を有する企業)を発掘することにより、ベンチマークを上回る投資成果を追求します。  
◆MSCIワールド指数(円ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとします。  
◆運用は「ウェリントン・マネジメント・カンパニー・エルエルピー」に委託します。  
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「Gグロース/海外株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2014年7月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	1.45%	1.43%
過去3ヶ月	6.16%	3.68%
過去6ヶ月	5.19%	8.25%
過去1年	24.25%	20.82%
過去3年	95.53%	75.15%
設定来	81.80%	61.33%

基準価額の推移 [設定日: 2001年10月2日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2014年7月末現在)

■組入上位5カ国

国名	比率
アメリカ	57.5%
日本	7.6%
ドイツ	4.5%
スイス	4.1%
ケイマン諸島	3.7%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	業種	比率
GOOGLE INC-CL C	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	3.1%
FACEBOOK INC-A	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	2.5%
ANHEUSER-BUSCH INBEV NV	ユーロ	食品・飲料・タバコ	1.9%
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	アメリカドル	医薬品・バイオテクノロジー	1.9%
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	スイスフラン	医薬品・バイオテクノロジー	1.8%
LOWE'S COS INC	アメリカドル	小売	1.8%
REGENERON PHARMACEUTICALS	アメリカドル	医薬品・バイオテクノロジー	1.8%
BAIDU INC - SPON ADR	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	1.6%
SANDS CHINA LTD	香港ドル	消費者サービス	1.6%
CELGENE CORP	アメリカドル	医薬品・バイオテクノロジー	1.6%

(出所) 日興アセットマネジメント株式会社

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

◆世界の公社債を主要投資対象とし、ベンチマーク(Barclays Global Aggregate Bond Index)を上回ることを目標として運用を行います。  
◆複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、国別配分、通貨配分、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。  
◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

ファンドの騰落状況

(2014年7月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	▲0.76%	▲0.90%
過去3ヶ月	0.71%	0.41%
過去6ヶ月	3.28%	2.90%
過去1年	5.27%	5.10%
過去3年	9.39%	4.78%
設定来	187.47%	193.05%

基準価額の推移 [設定日: 1994年9月30日]



※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

ポートフォリオの状況

■セクター別構成比 (BM対比)

(2014年6月末現在)	
セクター	比率
国債・現金	▲10.8%
政府保証債	▲4.8%
RMBS	▲2.3%
投資適格公益	▲1.2%
投資適格金融	0.9%
CMBS	1.7%
ABS	2.0%
投資適格産業	3.0%
ハイイールド社債	4.1%
エマージング債	7.3%

■格付け別構成比 (BM対比)

(2014年6月末現在)	
格付け	比率
AAA・現金	▲11.6%
AA	▲12.0%
A	4.2%
BBB	4.5%
その他	14.9%

■外部委託会社

(2014年7月末現在)		
運用会社	運用スタイル	目標配分
Brookfield	セクター(資産担保証券)特化型	6.5%
Colchester Global Investors	マクロ・バリュ-重視型	25.0%
Loomis	一般債個別銘柄選択重視型	25.0%
PIMCO	マルチ戦略・セクター配分重視型	30.0%
Russell Absolute Return Bond Fund	絶対収益追求型	5.0%
Strategic	金利・通貨配分重視型	8.5%

(出所) Russell Investments Limited.

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界各国の公社債に分散投資します。
- ◆シティ世界国債インデックス(円ヘッジなし)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「FS日本債券マザーファンド」および「FS海外高格付け債マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2014年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	0.88%	0.55%
過去3ヶ月	1.00%	0.88%
過去6ヶ月	3.33%	3.52%
過去1年	9.79%	9.20%
過去3年	32.82%	35.16%
設定来	50.90%	66.02%

基準価額の推移

〔設定日:2002年8月1日〕

(2014年7月末現在)



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況

(2014年7月末現在)

■国別構成比率上位5カ国

国名	比率
日本	24.19%
アメリカ	21.76%
イタリア	12.64%
イギリス	7.63%
スペイン	6.07%

■通貨別構成比率上位5通貨

通貨	比率
ユーロ	36.62%
日本円	24.19%
米ドル	21.53%
英ポンド	7.53%
豪ドル	1.47%

■債券組入上位10銘柄

銘柄	通貨	償還日	クーポン	格付け	比率
アメリカ国債	USD	2016/11/15	0.625	AAA	5.19%
アメリカ国債	USD	2018/10/31	1.250	AAA	4.71%
ドイツ国債	EUR	2016/10/14	1.250	AAA	3.82%
イタリア国債	EUR	2022/9/1	5.500	BBB	3.79%
スペイン国債	EUR	2017/4/30	2.100	BBB	3.51%
イタリア国債	EUR	2018/6/1	3.500	BBB	3.36%
日本国債	JPY	2018/9/20	2.300	AA-	3.13%
日本国債	JPY	2015/6/20	1.300	AA-	2.63%
日本国債	JPY	2017/6/20	1.900	AA-	2.63%
日本国債	JPY	2025/6/20	2.100	AA-	2.60%

※各比率は、投信の純資産総額に対する比率です。

(出所)  
アバディーン投信投資顧問株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(NOMURA-BPI総合指数)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル日本債券マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

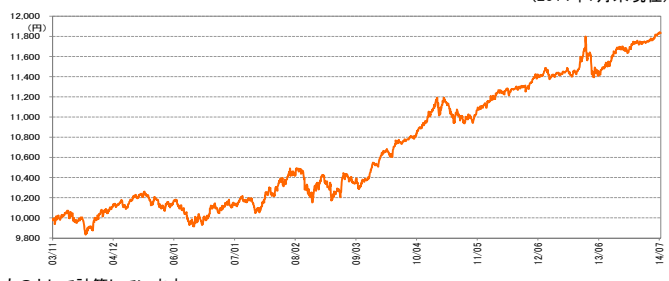
(2014年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	0.14%	0.17%
過去3ヶ月	0.79%	0.76%
過去6ヶ月	0.92%	0.92%
過去1年	2.96%	2.84%
過去3年	6.05%	6.79%
設定来	18.55%	21.55%

基準価額の推移

〔設定日:2003年11月18日〕

(2014年7月末現在)



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2014年7月末現在)

■種別構成比

種類	比率
国債	75.7%
地方債	0.0%
政保債	0.0%
金融債	0.0%
事業債	20.5%
円建外債	3.7%
MBS	0.0%
ABS	0.0%
その他	0.0%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分
りそな	広範囲型	50%
DIAM	広範囲型	50%

※比率および目標配分はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)  
ラッセル・インベストメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。



当ファンドに投資している特別勘定

金融市場型特別勘定

ファンドの特色等

◆本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。  
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・マネー・プール・マザー・ファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

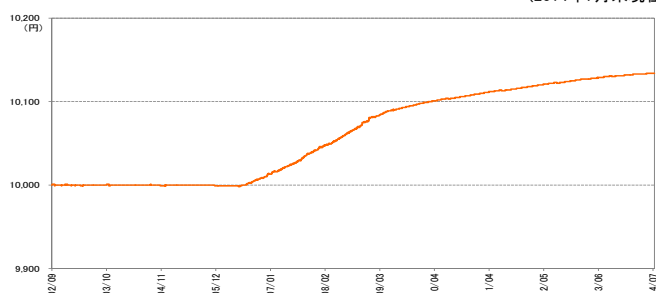
(2014年7月末現在)

	ファンド
過去1ヶ月	0.00%
過去3ヶ月	0.01%
過去6ヶ月	0.02%
過去1年	0.05%
過去3年	0.21%
設定来	1.34%

基準価額の推移

[設定日:2002年9月20日]

(2014年7月末現在)



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザー・ファンド・ベース)

■ポートフォリオ・プロフィール

(2014年6月末現在)

平均残存日数	62.03 日
平均残存年数	0.17 年

■格付別構成比

(2014年6月末現在)

	格付	比率
長期債券格付	AAA/Aaa	0.0%
	AA/Aa	93.1%
	A	0.0%
短期債券格付	A-1/P-1	0.0%
	A-2/P-2	0.0%
	現金・その他	6.9%

※比率はマザー・ファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■債券組入上位10銘柄

(2014年6月末現在)

銘柄	格付	比率
第456回 国庫短期証券 2014/09/08	AA/Aa	16.4%
第454回 国庫短期証券 2014/08/25	AA/Aa	13.1%
第459回 国庫短期証券 2014/09/16	AA/Aa	13.1%
第462回 国庫短期証券 2014/09/29	AA/Aa	13.1%
第461回 国庫短期証券 2014/09/22	AA/Aa	7.9%
第447回 国庫短期証券 2014/07/22	AA/Aa	6.6%
第455回 国庫短期証券 2014/09/01	AA/Aa	6.6%
第442回 国庫短期証券 2014/07/07	AA/Aa	5.2%
第448回 国庫短期証券 2014/07/28	AA/Aa	3.3%
第449回 国庫短期証券 2014/08/04	AA/Aa	3.3%

(出所)  
フィデリティ投信株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

## 5. 投資している投資信託の運用会社のご紹介

### アバディーン投信投資顧問株式会社

アバディーン・アセット・マネジメント・グループは、英国スコットランドのアバディーンに設立され世界25カ国33カ所に拠点を置き、資産運用に特化したグローバルな独立系資産運用会社です。上場する運用会社としては英国最大級の運用規模を誇っています。1983年の会社設立以降、独立系資産運用会社として主要金融機関の傘下に入ることなく、資産運用に特化した事業を展開し、順調な拡大を遂げています。独自の調査・分析および判断に基づいた運用を基本とし、世界の市場を網羅した効率的で地域に根ざした運用体制を構築しています。チーム運用重視、明確な運用プロセス、フラットな組織のもと、長期的視野に立った運用を行っています。

### アムンディ・ジャパン株式会社

アムンディ・ジャパン株式会社は、フランス共和国パリに本拠を置くアムンディ・グループの日本拠点で、グループ中核会社であるアムンディの100%子会社です。アムンディは、2009年12月31日に欧州有数の銀行グループであるクレディ・アグリコル、ソシエテ ジェネラル、グループ双方の資産運用会社を統合して設立されました。日本では、2010年7月1日付けでクレディ・アグリコル アセットマネジメント株式会社とソシエテ ジェネラル アセット マネジメント株式会社が合併し、当社が発足しました。アムンディは、世界の主要な金融市場である欧州(パリ、ロンドン、ミラノ)、アジア(日本、香港、シンガポール)、オーストラリア、米国に拠点を置く、グローバルな運用会社です。またビジネスを展開する拠点において強いプレゼンスを有し、お客様と密接で長期的な視野に立った関係の構築を常に心掛けています。

### 新光投信株式会社

当社は、ともに1961年に創立した新光投信委託株式会社と太陽投信委託株式会社の合併により誕生した、国内でも有数の歴史を持つ資産運用会社です。2000年4月の合併以来、「魅力ある商品開発」「優れた運用成果」「質の高いサービスの提供」を経営理念とし、資産運用を行う専門家として、投資家のみならず信用されるべく、業務に邁進して参りました。「資産形成のより良きパートナー」をモットーとして、投資家のみならずご満足いただける運用成果を目指すとともに、信頼されるサービスのご提供に全社一丸となって取り組んでいく所存です。

### 日興アセットマネジメント株式会社

日興アセットマネジメント株式会社は、1959年の設立以来、半世紀にわたって、わが国をリードする資産運用会社として、投資家のみならず多様な金融商品を提供しています。主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の多様な運用力を活用して日本の投資家に即した形で商品化する仕組みを確立し、お客さまのニーズに合った幅広い商品をお届けしています。アジア戦略の一環として、豪・NZのティンダル、シンガポールのDBS AMを買収し、アジアを代表する資産運用会社へのさらなる発展を目指しています。

### フィデリティ投信株式会社

委託会社であるフィデリティ投信株式会社は、FILリミテッドの実質的な子会社です。FILリミテッドは、資産運用業界におけるグローバル・リーダーとして、英国、欧州、中近東およびアジア太平洋地域を含む世界20以上の国や地域で、個人投資家や機関投資家に向け、幅広い資産運用サービスを提供しています。

### ラッセル・インベストメント・グループ

ラッセル・インベストメントグループは、年金、金融機関および個人など様々な投資者の皆様を対象に、グローバルに総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理、株式インデックスの開発など幅広く業務を行っております。当グループの創立は1936年。米国ワシントン州シアトルを本拠地とし、米国の大手生命保険相互会社であるノースウェスタン・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニーの子会社です。

### ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■ 将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

この資料は、特別勘定の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

【お問い合わせ先】